























びびッ

んあ...

ぐ...

あ...

ズググ...

ググ...

ぐ...















ト...

ト-

ト=

ト=

























ビュッ

あ
き
ッ

バッ...

ズッ...
ズッ...
ズッ...

グッ...

あ
...
ッ

あ
...
ッ

ぐちゃ...



ビクッ

ギョッ
ギョッ

あッ

あッ

あッ
あッ
あッ

ハッ

ハッ

あッ

うッ

んッ

グッ
グッ

はッ

あッ

んッ
んッ

バッ

バッ

ぬッ
ぬッ

ぐッ
ぐッ

バッ

バッ

バッ

バッ

カッ
カッ



キラキラ...

アア

ん...

ぐた...

ん...

ハア...

ん...

カアッ

グアッ

ビクビク

ビクビク

ビク
ビク

ググ...



ビクビクッ

あ
あ
あ
ッ

あ
ッ

ドク
ッ

ズッ

ビクッ

ビュルルルル





ビクッ

ビクッ

あ...

ああ...

あ...

んあ...

ガッ
ガッ

ドクドクドク...

ビクッ

ビクッ

ビクッ...

ビクッ...

ビクッ...

ビクッ



グ...

トロー

トロー...

ピュパッ

トロ...



あ、先生…っ
起きちゃったんだ

ご、ごめんね。テントの
騒がしかったもんね？

だからこんなところで
休憩してたんだよね？

—上に乗って何かしてた？

え？なんで？私が？
な、なんにもしてないよっ

先生の寝言聞こえたから
気になっただけだもんっ





ピク...

ア...
ア...

ア...
ア...

アイル
アイル...

ごめんね先生…
声…我慢できなかった

外でこんなことしちゃうなんて
最初は考えてなかったんだけどな…

でも先生が悪いんだよ？
あんなに可愛い寝顔してたら

私でなくても襲いたく
なるもん…絶対

— やっぱり起きる
前に何かしてた？

ちよっとキスしただけだよ？
ほんとに…それだけだよ？
♡





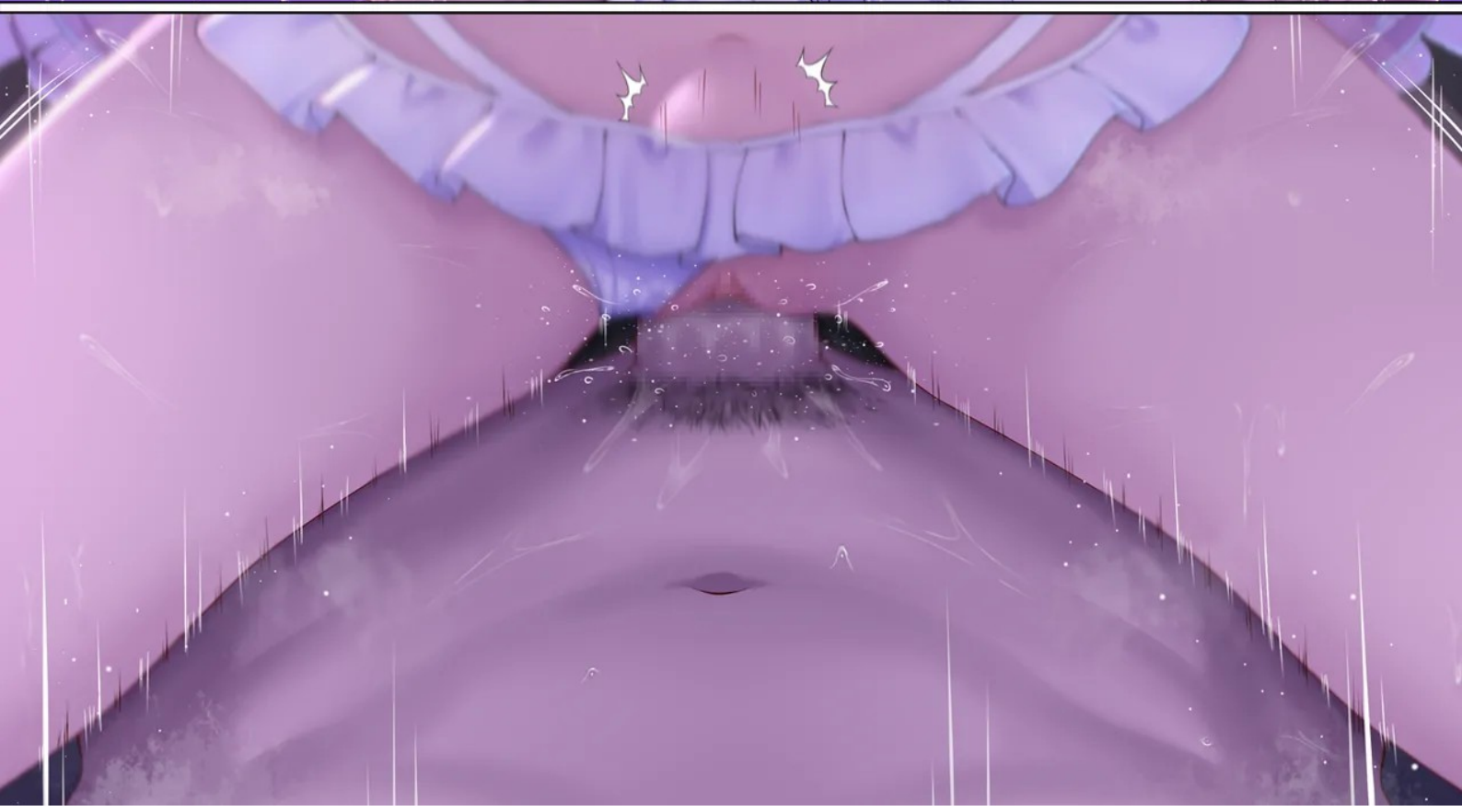














そんなことよりもね
さつきからずっと…

先生の私が私に当たってて…
おつきくなってるから…

こうなったのも
やっぱり私のせいだから

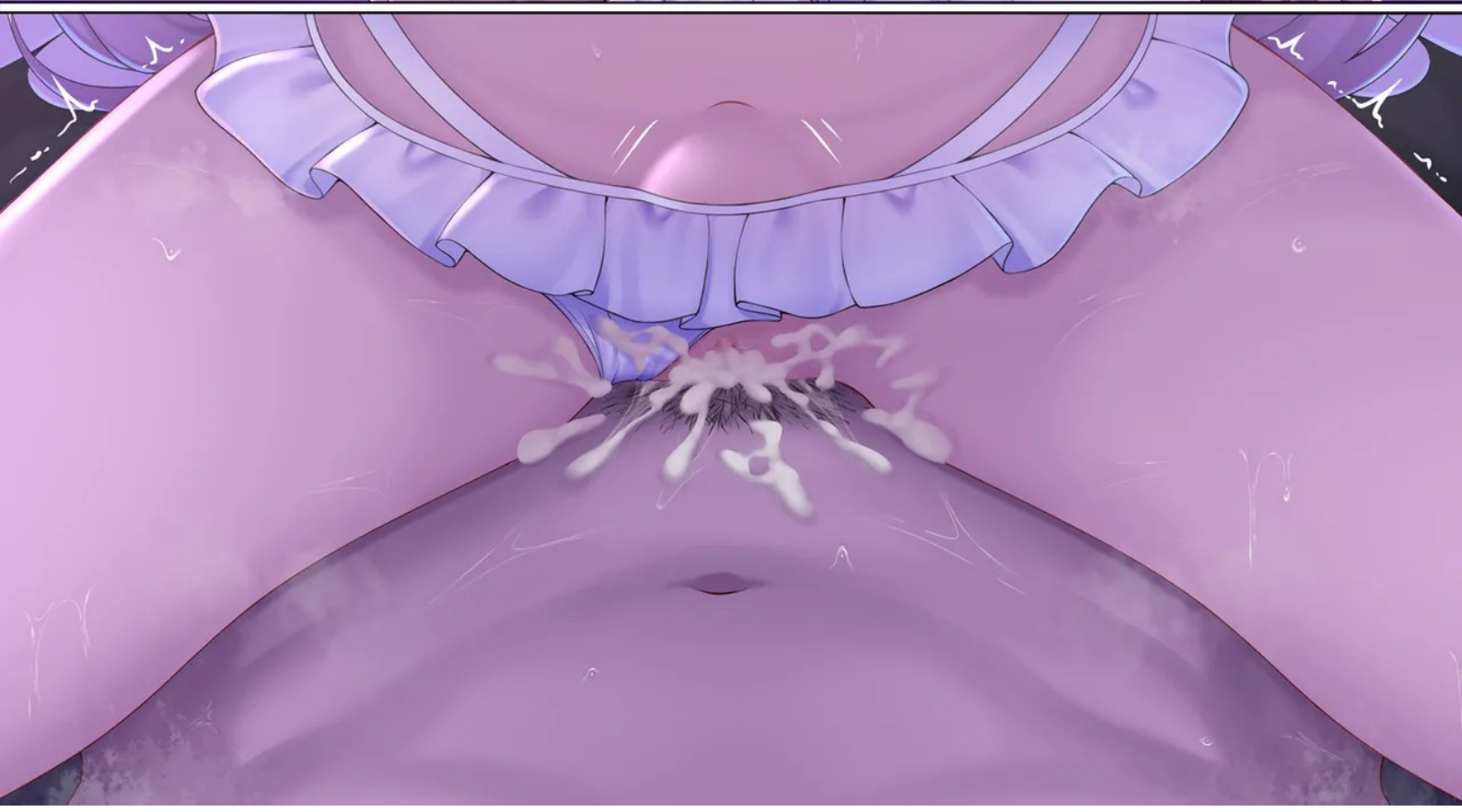
私が先生のお、おちんぽの
お世話しないとイケないよねっ

うんっ、頑張るから
先生はじつとしてて…

あ、心配しなくても大丈夫っ

皆には聞こえないように
声は我慢するからね…♡

///









んんん

ん
ん
...

ん
...
ん

んん...

んん...

んんん...

どうかな...先生...ツ
気持ち...良い...ツ?

ハア
ハア

ん
ツ

ん
ツ

う
ツ

先生のおっきいから...ツ

ゆっくりじゃないと...ツ
声...でちやいそう...ツ

ふ
ツ

う
ツ

ん
ん
ツ

ズ
ズ
ツ
ツ

グ
グ
ツ
ツ

ず
ず
ツ
ツ





こえ...ツ♡♡♡
でちゃうよおツ♡

まってせんせん♡
ダメ...だよ♡

せんせえ...がツ♡
うごい...たらツ♡

あツ

あツ

あツ

ああツ

んツ♡

あんツ

ゆっさ
ゆっさ

ズツツ
ズツツ

ズツツ
ズツツ

ヌツッ
ヌツッ

ぐちゃっ
ぐちゃっ

じゅぽっ
じゅぽっ

グツッ
グツッ



ビクッ

タダダダ
×タダ×
×ツツ×

こんなになに...
はげしい...
とツツ

ヤッ

あッ

いつの...ツツ
とまら...なよッ

また...ツツ
いっちゃうよ...おッ

びるっ
びるっ

あッ

あッ

んあッ

ズッ
ズッ

パチュッ
パチュッ

グッ
グッ
グッ

グラッ
グラッ



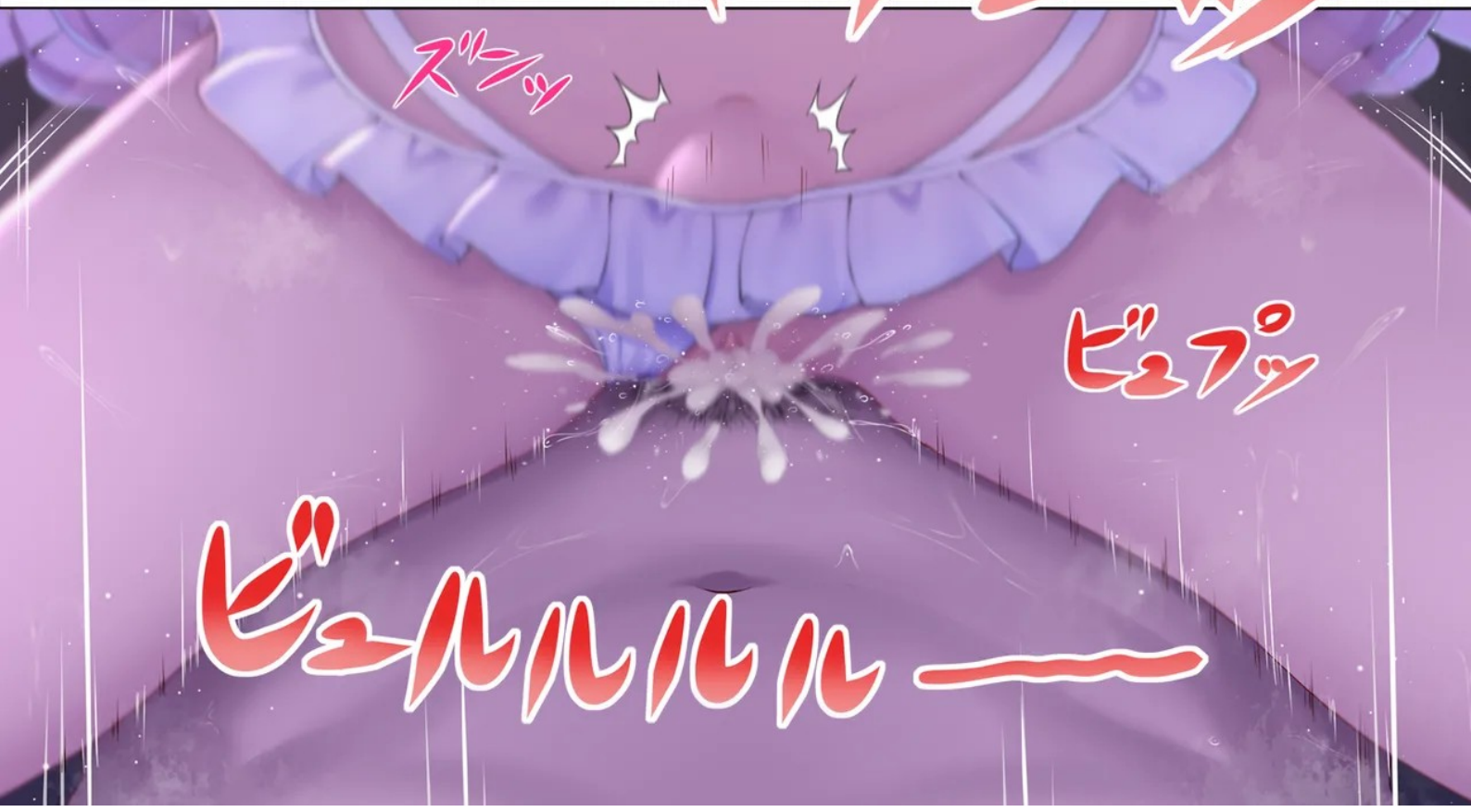
ビクッ

あ
あ
あ

おるん

あ
あ
あ

ドク
ン



ズッ

ビクッ

ビュルルルルル



ビクビクッ

あ...ッ♡

あ...ッ♡

ん...ッ♡

う...ッ♡

ビクッ

ドクドクドク...

ズズ...


ビュビュ...

ビュ—

ド...

ビュ...





久しぶりに会って
いきなりこんな：

アンタのそういうところは
相変らずみたいだね

今のなのとは話をしても
訳が分からない

信じるかどうかは
身体に聞いて判断する



ちよつと激しくしたただけで
こんなになるなんて…

どんな風になったとしても
身体だけはなののままだな…

とろー

う…

ドロ…



















ちよつと強引だけど
まあ…許容範囲かな

アンタの気が済むまで
好きにすればいいから

せいぜい頑張って
アタシを愉しませてよ♡

言われるまでもない
いつもみたいに

そんな余裕が出ないほど
分らせてみせる

ビクッ

ビクビクッ



あ...
あ...
ッ

あ...
ッ

ク...ク...
...

ズ...ズ...
...

す...ちゅ...
...



んッ

んッ

くッ
うッ

あッ

ハア
ハア

彼女には…こんなにッ♡♡
やさしくして…あげてたんだッ

でも…こんなのじゃッ♡♡
全然…満足しないんだからッ

スッ
スッ

スッ
スッ

グッ
グッ

ジュッ
ジュッ

じゅっ
じゅっ

ぐっ
ぐっ



ビッパ
ぶらっ
おっ

あッ
あッ

あッ

あッ

あッ

おッ

ぶらっ

おッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

グッ
グッ

グッ
グッ

すっ
すっ



おお...♡♡♡

お...♡♡♡

ん...♡♡♡

お...♡♡♡

ドクドクドク...

♡♡

カクカク

ビュビュ

ビュビュ...

ビュ...

ドロ...

ビュ~~~~~...



んあ...ッ♡

う...♡

んあ...ッ♡

んあ...ッ♡

んあ...ッ♡